

山口医学寄稿の手びき

原稿：マイクロソフトのワードを使って、A4 サイズ縦で作成する。フォントは明朝体、文字サイズは 10.5 ポイント。1 頁 20 行に設定し、各行の左側空白に行番号を表示させる。行番号は頁ごとに振りなおす。片面印刷。タイトルページを 1 頁目として、フッターの中央に頁番号をふる。

欧文表題：冠詞および前置詞を除く各語の最初の文字は大文字とする。

ランニングタイトル：30 字以内

ラテン語：印刷時にイタリック体にするため、赤のアンダーラインで指示する。

キーワード：キーワードは原則として日本語で 5 つ以内とし、用語は医学中央雑誌を参照すること。

和文抄録：すべての投稿論文に和文抄録を必要とする。字数は 800 字以内とする。

欧文抄録：投稿論文に欧文抄録を必要とする。但し、今日の医学・テクニカルノートにおいては不要とする。語数は 200 語以内とする。

図、表、写真：図表はそのまま製版するので十分に質の高いものを用意すること。特にカラー写真については留意する。説明文と図表写真の言語は統一する。図・表・写真の台紙サイズは A4 サイズ。

引用文献：

1. 文献番号は引用順とし、本文の引用箇所にカッコをつけて肩書きする。

2. 複数の文献の引用表示は、なるべくハイフンを使ってまとめること。

[例：1－3)、5－8)]

3. 文献は、著者氏名、表題、雑誌名、発行年；巻：頁一頁の順とし電子ジャーナルはこれに準ずる。単行書は、著者氏名、表題、編著者氏名、書名、版次、出版社、発行地、発行年、頁一頁の順とする。

4. インターネット上の資料からの引用は、著者名、資料題名、サイト名、URL。（アクセスした日）の順とする。

5. 共著者のうち 4 人以上は省略できる。

6. 雑誌名は、省略形を用い、下に示すように和文雑誌は医学中央雑誌の方式とし、欧文雑誌は Index Medicus の方式とする。

例

1) D'Onofrio G, Rathlev NK, Ulrich AS, Fish SS, Freedlannd ES. Lorazepam for the prevention of recurrent seizures related to alcohol. N Engl J Med 1999; 340: 915-919.

2) Kasai M. Hepatic portenterostomy and its modificaticus. In:Kasai M. Shiraki E, eds. Cholestasis in infancy: its pathogenesis, diagnosis and treatment. 2nd ed. University Park Press, Baltimore, 1990; 337-344.

3) 西蔭三郎, 山口佳晴, 井上荘三郎, 筋強直性ジストロフィー患者の麻酔について. 麻酔 1997; 26: 1648-1653.

4) 上出利光. サイトカインと細胞接着分子. 菊地浩吉編, 医科免疫学, 第 4 版. 南江堂.

東京, 1995; 147-170.

5) 山口大学医学会. 論文投稿. 山口大学医学会. <http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~igakkai/maga/paper.htm>. (参照 2011-01-13)

附則 この手引きは平成 20 年 9 月 30 日から施行する。

附則 この手引きは平成 23 年 1 月 14 日から施行する。

附則 この手引きは平成 23 年 11 月 2 日から施行する。